

# 虹のたより

コープおおいた機関紙  
信頼される商品を食卓へ!



手作り雑貨のワークショップなどを通して、参加者と交流を図る「にじいろマルシェ」を8月7日(水)、CO・OPふらいるにて開催しました。キーホルダー、サンドアート、手形定型アート、パン屋などが出店し、多くの親子に楽しんでいただきました。その他にハズレ無しのパチンコゲームやクイズを用意し、コープのお菓子をプレゼントしました。子どもたちには絵本の読み聞かせを行ない、和やかなムードでイベントを行なうことができました。

2019年10月号

発行日: 9月16日発行 (Vol.712)  
発行: 生活協同組合コープおおいた 大分県大分市青崎1-9-35  
編集: 役員室 広報課

お知らせやイベント情報をホームページに掲載!



8月17日(土) 参加者: 181名

## コープおおいた主催 平和のつどい

明日香美容文化専門学校にて、平和について考える「平和のつどい」を開催しました。今年は広島市の爆心地の様子が体験できるVR(=仮想現実)体験会を行ない、子どもから大人まで様々な方に体験していただきました。VRとは専用のゴーグルとヘッドホンを使用し、実際にその場にいるかのような体験ができる機械です。爆心地体験VRは広島県立福山工業高校の計算技術研究部によって制作され、原爆の恐ろしさを伝える新しい方法として世界中から注目を集めています。

今回の講演では制作に至った背景などをお話していただきました。長谷川先生をはじめ生徒たちは、体験手記などの資料、被ばく者からの聞き取りを行ない、忠実に街を再現しました。実際に街並みを覚えている方に体験していただき、何度も修正を重ね、より忠実に再現できるよう試行錯誤を繰り返しました。そして、原爆投下直後の風景も様々な資料をもとに制作し、完成しました。実際にVRを体験した方は「言葉では伝わらない恐怖を感じ、一瞬にして日常が奪われたことを実感しました。」と感想を語りました。

その他にも戦時中の食事を再現した試食会、2025年に届く「未来郵便」、地雷レプリカの展示、水の大切さを知るすごろく、戦争遺品の展示などの企画を用意し、平和な未来について考える1日となりました。



7月30日(火) 参加者: 約70名

## 日田市民生活協同組合 コープおおいた日田センター合同 第25回 平和のつどい

今年で25回目を迎えた日田の「平和のつどい」は、コープおおいた日田センターと日田市民生活協が毎年合同で開催しています。子どもたちを交え、あらためて平和の尊さ・大切さを考える場になればと願っています。

遺族会代表者の樋口 文雄さんと、日本原水爆被害者団体協議会の太田 克子さんからご挨拶をいただいたのち、日田市在住の子どもたちによる平和の作文を朗読していただきました。「たくさんの命と笑顔を奪った戦争を、二度と繰り返してほしくない」と日田市立光岡小学校5年の田中 大雅さんが発表しました。

続いて戦争体験者の江田 通徳さんを講師に、ご自身と父親の戦争体験についてご講演いただきました。故郷に家族を残し、異国の地で「死」を間近に感じながら行軍するようすを思いを込めてお話していただきました。

つどいの最後、日田三隈高校 ギター・マンドリン部による演奏会では、約70名の参加者が心地よい弦楽器の音色に聴き入っていました。



コープおおいたでは、核兵器廃絶を訴える「ヒバクシャ国際署名」を行なっております。QRコードよりオンライン署名が行なえますので、ご賛同いただけましたらご署名お願いいたします。

ヒバクシャ国際署名  
オンライン署名  
QRコード



8月20日(火)~22日(木) 参加者: 19名

## ふくしま訪問ツアー



8月20日(火)~22日(木)までの2泊3日の行程で、組合員、学生ボランティア、組合員理事、コープおおいた職員の合計19名で福島県を訪問しました。

初日の新地小学校では、「ふくしまっ子応援プロジェクト9」に参加してくれた、元気な子どもたちと再会し、交流を行ないました。次に訪問した新地町役場ではジオラマを見ながら、復興していく新地町を説明していただきました。

2日目は浪江町・双葉町・大熊町の地域を視察しました。地震が発生したその瞬間から時間が止まったままの状態を目の当たりにし、原発事故の恐ろしさを改めて感じました。

富岡町では東京電力廃炉資料館の見学を行ないました。事故当時どのような事が行なわれたのか、廃炉に向けてどのような取り組みをしているのかなどを学びました。その日の夜は、飯館村にある宿泊施設にて飯館村の皆さんと交流しました。

最終日は桃の生産者である高橋さんのもとへ訪問し、その後JAのモニタリングセンターを訪問しました。ここでは農産物の放射能汚染を測定しており、流通している農産物は安全が確保されていることが確認できました。

今回の訪問を通じて、原発事故の恐ろしさや様々な事に影響を与えていることを学びました。そして福島は復興はまだ限定的であり、この先もまだまだ続くということ。この先も福島の皆さんに寄り添っていくことの重要性を感じた訪問となりました。



ジオラマを見ながら説明を受ける様子

新地小学校に植樹したふんご梅の前に撮影

新地町に関するクイズなどで交流を深めました。

お店の駐車場はコンクリートががれ、雑草が生えています。

津波の被害にあった小学校。校舎内は津波で何も残っていませんでした。

防災緑地公園で説明を受ける様子

除染で生じた放射性廃棄物を詰め込んだフレコンバッグ

大分からの桃の注文書67人分の目録をお渡ししました。

桃の収穫体験



## 「はじめてばこ」をお届けしました

「はじめてばこ」とは、大分県内で生まれた赤ちゃんに「生まれてきてくれてありがとう」の気持ちをこめたプレゼントです。中にはお祝いの品々を詰め合わせており、中身を出した箱には初めての靴や服を詰めることで、10年後、20年後に思い出すことができる、タイムカプセルのような使い方もできます。

8月8日(木)に「はじめてばこ」のお届けに立ち合わせていただきました。お届けした際、とても喜ばれ、「ありがとう」という言葉に嬉しくなりました。

## 「はじめてばこ」のお届け対象者

2019年4月2日から2020年4月1日の間に生まれ、大分県内に住民登録された赤ちゃん

TOS はじめてばこ

検索



※プレゼントの内容は時期によって変更になります。「はじめてばこ」ホームページ QRコード▶



7月24日(水)～8月10日(土)  
参加者合計:150名  
宇佐・中津/日田/別府/大分エリア  
**水生生物観察会**



水生生物を観察することで水辺の環境について考え、その環境を守ることを目的に、県下各地域で「水生生物観察会」を開催しました。大分マリンパレス水族館「うみたまご」のスタッフを講師としてお招きし、生きものの捕まえ方、種類、特徴、海や川の環境状態を説明していただきました。

夏休みということもあり、多くの子どもたちが参加してくれました。子どもたちは最初のレクチャーが終わるとすぐに水辺へと繰り出し、競い合うように捕まえていました。「見て! 捕まえたよ!」と楽しそうにカゴや捕まえた生きものを見せてくれました。

観察の時間になると暑さをしのぐために冷たい「**COOP** 氷菓用キャンデー パンちゃん」を食べ、涼みながら講師の説明に耳を傾けていました。子どもたちは、生きものに実際に触れることができ、とても楽しそうにしていました。お父さん、お母さんも楽しそうな子どもたちを見て嬉しそうなお顔を浮かべていました。

学校の授業では体験できない今回の企画は、夏休みの思い出になると共に環境問題を考える良い機会になりました。



14 海の豊かさを守ろう  
15 緑の豊かさを守ろう

## 「コープおおいた環境基金助成金」を活用してみませんか?

コープおおいたでは、レジ袋の削減収益や宅配のカタログリサイクル益金などを「環境基金」として積み立てています。2016年度より大分県内で環境活動に取り組んでおり、3年以上の活動実績のある団体やグループに対して、助成金を支給しています。

2020年度も県内の団体などへ助成金を支給させていただくことになりましたので、下記の通り募集します。

- 募集数/7団体以内
- 助成金額/1団体:1件=20万円以内
- 公募/2019年10月1日～11月30日
- 選考/コープおおいた環境基金委員会

**お問い合わせ** **コープおおいた環境基金委員会事務局**  
☎(097)524-0122 (担当:廣瀬)  
(受付時間)月～金曜 9時～17時

「コープおおいた環境基金助成金」QRコード▶



## 2019年7月改善 組合員さんの声に応じて改善しました

商品名:「**COOP** うまくちしょうゆ減塩」450ml

**組合員の声**

- キャップから液だれします。
- 使用する時に傾けると、しょうゆが多く飛び出してテーブルにこぼしてしまいます。

**改善しました**

**ボトルとキャップを改良し、使いやすくなりました**

本品は2018年10月に発売しましたが、上記の声を受けて、キャップの改良とボトルの強度の改善を行ない、より使いやすくなりました。

「**COOP** うまくちしょうゆ」に対して25%塩分カットしたタイプのおしょうゆです。本醸造しょうゆに枕崎産かつお節から煮出した「だし汁」で風味を増し、さらに糖類を加え、塩かどをなくした甘口タイプです。酸化しにくい密封ボトルを採用し、常温での保存性が向上し、卓上しょうゆとしても気軽に使えます。



COOP WEBの **TSUKURO** にも掲載しています。  
(<https://coop-tsukuro.jp/>)

COOP WEB TSUKURO QRコード▶



## 「コープまごころ便」をご存知ですか?

「コープまごころ便」とは、離れて暮らすご家族にコープ商品を宅配便でお届けするサービスです。カタログからお好きな商品を選んで、専用注文用紙に書き込み、配達担当者へ提出するだけです。梱包の手間もないので、とても簡単です。

**ご利用条件**  
コープおおいたの組合員で配達(個配・共同購入・ステーション)をご利用されている方

**ご利用できる商品**  
通常の注文と同じ企画週のカatalog「ふれあい」「ばれっと」に掲載している商品

**利用できない商品**  
冷蔵品、農産品、園芸商品、アイスクリーム類、パン類、ティッシュ・トイレトペーパーのハーフケース、抽選企画商品、チケット類、「スクロール」掲載品、一斉配達や予約商品

**配送料金(税抜)**

北海道	東北	信越	関東	中部・北陸	関西
1,800円	1,270円	1,190円	1,160円	1,090円	870円
四国	中国	九州	大分県内	沖縄	
900円	830円	750円	580円	1,500円	

※10月より、消費税は10%となります。

詳しくは、配達担当者または各センターまでお問い合わせください。

3月4日(月)にモザンビークとマラウイで熱帯低気圧として発達した大型サイクロン「イダイ」は、過去20年間で最悪の被害をもたらしました。コープおおいたはその被害に対し、4月29日(月)から7月19日(金)まで注文書による募金、店内募金を行ない、日本ユニセフ協会へ寄付しました。

**募金金額 1,337,383円**

## PUZZLE パズル

パズル制作/ニコリ

### 漢字合わせ札

ある2字の熟語を、それぞれ4つに切断して、ばらばらにしてしまいました。うまく組み合わせて、元の熟語に戻してください。

●例題● ●例題の答え●

漢字

●解答欄

元の熟語は、何だったのでしょうか?

〒870-0278 大分市青崎1-9-35  
コープおおいた『虹のたより』コープパズル係まで  
●eメール: [niji@oita.coop](mailto:niji@oita.coop)  
●締め切りは10月25日(金)[当日消印有効]です。

専用フォームでの応募が可能となりました。郵便ハガキ・eメールでもご応募も可能です。



### 8月号 クロスワード

答え 「カスイヨク(海水浴)」

ヨ	ビ	ク	レ	ー	プ
ヤ	セ	ガ	マ	ン	リ
ク	イ	デ	メ	キ	ン
ブ	イ	ン			
ベ	ツ	ワ	ク	ド	テ
ツ		カ	ラ	ツ	ケ
プ	リ	ン	ス	イ	カ

当選者は、下記に掲載しています。

**パズル・くらしの知恵袋 応募方法**

郵便ハガキ、eメール、応募専用フォームに「パズルの答え」と①住所、②氏名、③年齢、④組合員番号(組合員番号は8桁の数字で、組合員カード(Cataroカード)・注文用紙・納品書に記載しています。)、⑤『虹のたより』への感想や「くらしの知恵袋」などお寄せください。ペンネームでの記載をご希望の方は、あわせてご記入ください。いただきました感想や「くらしの知恵袋」を広報物に使用させていただくことがございますので、ご了承ください。なお、ご記入いただきました個人情報は他の目的で使用しません。パズルの正解者10名の方には「**COOP** おいしい鶏ゴボウおこわ」をプレゼントします。正解者多数の場合は、抽選となります。「くらしの知恵袋」が採用された方には「**COOP** ハイシャレル(チョコレート菓子)」をプレゼントいたします。

## くらしの知恵袋

パスタのような袋を開けるときは麺に対して水平に袋を切って開けると、中身を出しやすく封をするのも簡単です。  
(竹田市 いっちゃんさん)

### 10月の主なスケジュール

- 11日(金) 組合員の声を活かす委員会
- 18日(金) 組合員理事協議会
- 24日(木) 親子de楽しく 映画館で読み聞かせ
- 25日(金) 理事会
- 30日(水) JA全農お肉の産直交流会
- 31日(木) ゲームを通してSDGsについて楽しく学習しよう!

### 8月のコープおおいた

- 組合員数…170,816世帯 生協に加入している世帯数です。
- 出資金…5,859,771千円 出資をもとに生協の運営を行ないます。